

# 刑法総論 I

科目ナンバリング CRL-101  
必修 2単位

堀田 晶子

## 1. 授業の概要(ねらい)

刑法は、犯罪と刑罰に関するルールです。1年次に学修する刑法総論では、すべての犯罪に共通する要素(犯罪の成立要件)を分析し、「およそ犯罪とは何か」を考えます。一見、抽象的に見える犯罪論も、具体的な事例を用いてイメージすることで、確かな理解へと繋がります。1年間を通じて、刑法総論の主要な論点と向き合い、法解釈の技術を学ぶとともに、犯罪論を体系的に理解する法的思考力を身につけます。

## 2. 授業の到達目標

- ①刑法総論の主要な論点について、判例の立場や学説の対立を意識しながら、具体的に説明できること。
- ②法解釈の技術を学び、犯罪論を体系的に理解する法的思考力を身につけること。

## 3. 成績評価の方法および基準

基本的には試験によって評価する。評価配分の日安は、試験90%、授業への貢献度10%である。授業への貢献度は、勉学への意欲や授業態度等によって総合的に判断する。

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

以下の教科書をお勧めします。本には相性があるので、この中から自分が読みやすいと思ったものを選んでください。

大塚裕史 十河太朗他〔著〕 『基本刑法 I・総論』〔第3版〕(2019) 日本評論社

西田典之〔著〕・橋爪隆〔補訂〕 『刑法総論』〔第3版〕(2019) 弘文堂

井田良〔著〕 『講義刑法学・総論』〔第2版〕(2018) 有斐閣

### 参考文献

佐伯仁志・橋爪隆〔編〕 『刑法判例百選』〔第8版〕(2020) 有斐閣

井田良〔著〕 『基礎から学ぶ刑事法』〔第6版〕(2017) 有斐閣

## 5. 準備学修の内容

特に復習に力を入れてください。毎回の授業で扱ったテーマについて、関連する条文を必ず確認し、レジュメやノートを読み返しながらか、復習しましょう。勉強すればするほど疑問がわいてきます。疑問点が出てきたら、テキストを繰り返し読みながら、まずは自分で考えてみましょう。図書館を大いに活用し、時には友人と議論してみてください。それでもわからない場合は、教員に質問してください。

## 6. その他履修上の注意事項

授業をよく聞いて、その都度レジュメに書き込むか、ノートを取るようにしてください。自分で書いて、理解することが大切です。授業の内容が聞き取れなかった場合は、あやふやのままにせず、すぐに確認してください。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション-刑法総論とは何か-
- 【第2回】 罪刑法定主義その1
- 【第3回】 罪刑法定主義その2
- 【第4回】 犯罪とは何か-犯罪の3要素・犯罪の認定手順-
- 【第5回】 構成要件とは何か
- 【第6回】 客観的構成要件その1
- 【第7回】 客観的構成要件その2
- 【第8回】 主観的構成要件
- 【第9回】 錯誤論その1~具体的事実の錯誤~
- 【第10回】 錯誤論その2~抽象的事実の錯誤~
- 【第11回】 前半のまとめ
- 【第12回】 不作為犯
- 【第13回】 過失犯
- 【第14回】 刑罰の正当化根拠
- 【第15回】 春期のまとめと試験(予定)